

ふる との



町花：山百合

議会だより

3 月定例会

No.171

古殿町議会

令和7年4月18日発行

道の駅拡張など新年度予算を可決	2
三株展望台登山道取得などの議案を可決	5
一般質問：新年度事業など5議員が9問	9
まちの企業紹介：有限会社水野運送店	16



新1年生おめでとう
(4月7日 古殿小入学式)

交流人口拡大を推進

令和7年度
予算

古殿町のお金の仕組み

一般会計予算 51億5,300万円

議会費 6,667万6千円(1.3%)
議会活動のためのお金

総務費 7億4,307万9千円(14.4%)
全般的な管理事務のためのお金

民生費 10億2,995万5千円(20%)
障がい者や高齢者に対する福祉の充実、
子育て支援などにかかるお金

衛生費 4億2,526万8千円(8.2%)
環境保全、疾病予防、健康増進などにかかるお金

労働費 7万円(0%)
労働福祉の事業に必要なお金

農林水産業費 3億9,929万3千円(7.7%)
農・林業振興のためのお金

商工費 1億7,041万円(3.3%)
商工業や観光の振興のためのお金

土木費 7億7,372万円(15%)
道路、公園や区画整理などの事業に要するお金

消防費 2億6,132万4千円(5.1%)
消防、防災事業などに要するお金

教育費 5億1,031万7千円(10%)
学校教育、生涯学習、スポーツ振興
などの事業に要するお金

災害復旧費 7千円(0%)
災害によって生じた被害を復旧するためのお金

公債費 7億5,276万8千円(14.6%)
町の借金を返済する元金と利子などのお金

予備費 2,011万3千円(0.4%)
緊急を要する場合などに、予算外の支出や
予算超過の支出に充てるためのお金

歳出

歳入

町税

4億8,352万4千円(9.4%)
町民税や固定資産税、
軽自動車税、
たばこ税などの税金

使用料等

3,178万6千円(0.6%)
施設の使用料など

繰入金

5億4,517万8千円(10.6%)

繰越金

5,000万円(1%)
前年度からの繰越金

その他

2億4,915万7千円(4.8%)
寄付金など

譲与税等

2億4,445万3千円(4.7%)
特定の国税を一定の基準で
国が配分するお金

地方交付税

23億2,109万7千円(45.1%)
国から交付されるお金

国県支出金

4億6,300万3千円(9%)
特定の事業に対し、
国や県から交付されるお金

地方債

7億6,480万2千円(14.8%)
事業のために借り入れるお金

町税等町で得るお金

国や県から得るお金

※割合の小数点以下を端数処理しています。

道の駅拡張事業など



注目事業クローズアップ

交流人口拡大

道の駅拡張 造成工事

拡張計画の基本・実施設計や造成工事、施設の実施設計を行う。完成は令和9年度の予定。



宝くじ文化公演歌謡ショー

10月18日(土)に天童よしみ、モト冬樹による歌謡ショーを予定。



福祉

デマンドバス運行

事業者に委託して町の公用車を活用し、予約制で自宅と目的地を乗り合い運行する。



前木団地建築

前木団地の3棟10戸を建築する。完成は令和8年度の予定。



3月定例会

3月定例会は3月6日から3月12日まで、7日間の会期で開催された。

新年度予算をはじめ、一般会計第7次補正予算や教育長の人事案件など26議案が原案の通り可決された。

町民の暮らしを守る政策を

令和7年度古殿町
一般会計予算

2月14日に行われた令和7年度主要事業についての全員協議会での協議と、本会議での質疑を併せて掲載する。

中山間地域等

交付金事業

Q 来年度から内容が変更されるのか。

A ネットワーク化に取り組んで10ヘクタール以上の農地を確保しなければ10割の交付金ももらえない。

Q 組合数は減るのか。

A 確定ではないが、51組合から4組合減り47組合の予定。交付金10割に取り組むのが難しい団体も多い印象だ。組合数の確定時期は来年度早々になるが、10割に向けて取り組む組合もあれば、8割の交付金で現状どおりやる団体もある。

デマンドバス運行

Q 業務委託をするとのことだが、一般財源730万円で運行できるのか。

A 7月から3月までの9か月を予定しており、その人件費を計上した。役場の公用車1台を利用して運行する。

Q 過年度に実証実験をしたのでは。

A 福祉・へき地バスの小型化が目的だった。今回は福祉・へき地バスが来ない場所に、前日まで予約の運行を考えている。

Q 令和7年度の実証実験で計画を策定し、翌年度から実施する流れか。

A 実証実験がうまくいけば継続的に、町民の方の足を確保する。

屋内ゲートボール場

トイレ改修

Q 現在のトイレは取り壊すのか。

A 現在の建物を使い、トイレを水洗化する。

Q トイレ数はどうなるのか。

A 現状の数になる。

高齢者居住施設

Q 入居者数は。

A 5人が目標だったが、現時点で3人。

Q 入居に至らない理由は。

A 家賃、水道料金、集落排水施設使用料などの固定費の負担が原因と思われる。新しい取り組みも必要と考える。

討論

反対

岡部淳一議員

予算編成に大きな問題がある

継続的な水田農業振興として兼業米農家支援の実施が必要だった。また、道の駅拡張事業では総額が示されないなど、施策実施の順番が逆であり、予算編成に大きな問題があることから反対する。

賛成

鈴木 隆議員

必要な財源措置がとられている

有利な財政措置のある地方債や基金を活用し、町民福祉の向上につながる事業も計画されている。今後の道の駅拡張事業は、事業内容の精査をして議会へ報告することを望み賛成する。

起立多数

可決

三株山頂への登山道の土地を取得

三株山頂に通じる登山道を含む土地15万7475平方メートルを山上字二本檜、大竹芳雄氏から2362万円で購入するもの。

Q 借地料を払って通行していたのか。無償でお借りしていた。

Q 広大な土地を購入する最大の理由は。

A 山頂に登る登山道の確保。

Q 不要な不動産を買うべきではない。道だけを購入しては。

A 登山道だけを分筆したときの経費、登山道以外の部分の整備を総合して考えた結果である。

Q 三株展望台がなければ道の必要性はないが、老朽化したら建て替えるのか。

A 現時点で判断できないが、富士山が見える三株展望台は観光スポットの一つだと認識している。

Q 別ルートの登山道は考えたのか。

A 検討したが、道路を新設すると1メートルあたり20万円で、1キロメートルの工事で2億円かかってしまう。



取得する予定の三株の土地

三株展望台

討 論

反対

野崎喜彦 議員

明確な目的がない

広大な土地取得に明確な目的が設定されていない。塩漬けになる土地を維持する財政状況ではないとして反対する。

賛成

鈴木 隆 議員

登山道の確保は重要

観光資源の乏しい古殿町で三株山頂付近の土地は、先々を考えると大変重要と考えるため賛成する。

起立多数

可決

人事案件



佐川 重俊 氏

住所
松川字大原

任期
令和7年4月8日～
令和11年4月7日

監査委員の選任に同意



渡邊 宏文 氏

住所
石川町字王子平

任期
令和7年4月1日～
令和10年3月31日

教育長の任命に同意



渡邊 英子 氏

住所
松川字新桑原

任期
令和7年7月1日～
令和10年6月30日

人権擁護委員の推薦に同意

第1回臨時会(1月22日)

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第1号	令和6年度古殿町一般会計第6次補正予算 町民1人あたり7,000円の商品券を配付する等の事業を行う	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

3月定例会

議案第2号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 県に準じ、給料表や扶養手当等を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第3号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例 刑法等の改正に伴い、関係する条例の文言を修正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第4号	古殿町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 番号利用法の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第5号	古殿町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第6号	古殿町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第7号	古殿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第8号	古殿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第9号	古殿町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 保育所等に通っていない満3歳未満の子どもが一定時間通園可能となる制度の運用に関する基準を定めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第10号	財産の取得について 三株展望台登山道を含む土地の取得(P5掲載)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/
議案第11号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 渡邊英子氏の再任(P5掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第12号	令和6年度古殿町一般会計第7次補正予算 事業の確定などにより8,399万8,000円を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第13号	令和6年度古殿町介護保険特別会計第4次補正予算 支払基金交付金の減等により426万円を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第14号	令和6年度古殿町後期高齢者医療特別会計第2次補正予算 保険料の増等により30万8,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第15号	令和6年度古殿町宅地造成事業特別会計第2次補正予算 2区画の販売が見込まれるため768万8,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第16号	令和6年度古殿町簡易水道事業会計第2次補正予算 年間所要見込額減少のため歳入歳出を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第17号	令和6年度古殿町下水道事業会計第2次補正予算 年間所要見込額減少のため歳入歳出を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

3月定例会

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議 案 名	採決	根本重一	根本太郎(補)	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第18号	令和7年度古殿町一般会計予算 51億5,300万円とする(前年度比7.9%増。P2～4掲載)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/
議案第19号	令和7年度古殿町国民健康保険特別会計予算 5億8,359万7,000円とする(前年度比4.5%増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第20号	令和7年度古殿町介護保険特別会計予算 8億1,767万円とする(前年度比0.7%減)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第21号	令和7年度古殿町後期高齢者医療特別会計予算 6,963万1,000円とする(前年度比4.4%増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第22号	令和7年度古殿町宅地造成事業特別会計予算 3,000円とする(前年度同様)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第23号	令和7年度古殿町簡易水道事業会計予算 収益的収入は1億1,524万5,000円、収益的支出は1億1,272万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第24号	令和7年度古殿町下水道事業会計予算 収益的収入は農集で1億4,255万7,000円、林集で5,274万円、収益的支出は農集で1億4,259万3,000円、林集で5,274万1,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第25号	教育委員会教育長の任命について 渡邊宏文氏を任命する(P5掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第26号	監査委員の選任について 佐川重俊氏を選任する(P5掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第27号	工事請負契約の締結について 町道下論田鵜巣線の道路改良工事を9,372万円で株式会社三森建設が落札	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
委員会発議第1号	古殿町議会委員会条例の一部を改正する条例 議会運営委員会の定数を2人減の4人とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議員発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書 福島県最低賃金を1,000円に到達させることなどを要望するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
請願第2号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願 選択的夫婦別姓制度の導入を求めるもの	不採択	×	×	×	×	×	×	○	退席	×	/
請願第3号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求めるもの	不採択	×	×	×	×	×	×	○	退席	×	/



〈変更後〉
 ◎委員長 野崎 喜彦
 ○副委員長 佐藤 一夫
 委員 鈴木 隆
 委員 佐川 勇司

委員会定数を見直した結果、委員会
 発議により、議会運営委員会の定数が
 6人から4人となったことから、委員
 の構成が変更になった。

議会運営委員2人減

常任委員会の活動

総務常任委員会

三株展望台登山道を視察

総務常任委員会は取得予定の三株展望台登山道周辺を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換し、福島県議会でのペーパーレス議会の取り組みを研修しました。

また、付託された3件の請願について、1件を採択し、2件を不採択としました。



三株展望台登山道を視察する委員

意見

(三株展望台登山道)

- 使用目的を明確に。
- 駐車場の設置が必要。

(ペーパーレス議会)

- 今後の課題である。

産業建設常任委員会

道の駅ふるどの等を視察

産業建設常任委員会は道の駅ふるどのや宅地分譲地等を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



道の駅ふるどの拡張地を視察する委員

意見

- 緊急避難口の設置が必要。
- 既存の進入路を生かす。進入路を移動すると追加買収や右折レーンの設置が発生する。
- 新しい道の駅の竣工後は、既存の道の駅を撤去してはどうか。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをただす

一般質問

ただ 町政を質す

3月11日に5人の議員が9問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

野崎喜彦 議員 10

- (1) 町に適した公共交通体系の今後について問う
- (2) 令和7年度の事業推進について

鈴木 隆 議員 11

- (1) 令和7年度主要事業を問う
- (2) 町消防団組織を維持するための対策、対応について

根本重一 議員 12

- (1) 本町の防災、減災対策について

松崎法通 議員 13

- (1) 道の駅建設と第6次中山間地域直接支払事業について
- (2) 町管理施設のあり方を問う

岡部淳一 議員 14

- (1) 大規模災害頻発を受けての対応策の現状は
- (2) 訪問介護などの地域福祉の現状と今後の取り組み

Q 町に適した公共交通の今後は

公共交通

A 実証実験としてデマンドバスを運行する



のぞき 野崎 よしひこ 議員

野崎 「デマンドバス運行事業」の運営主体は。
町長 町が運営主体。
野崎 デマンドバスの予約と運営方法、運行範囲は。
町長 民間事業者に業務委託を予定。運行範囲は町内で、自宅と目的地の乗り合い運行を想定している。
野崎 民間バス、福祉バス等との連携・連絡はどうなるのか。
町長 令和7年度は利用者のニーズ把握のための実証運行で、既存の交通サービスは現状維持を考えている。

野崎 デマンドバスの

町長 原則運賃は徴収できないが、若干の自己負担を検討している。
野崎 町内で営業されている「福祉タクシー」の運行把握は。
町長 事業者から運行状況を直接お聞きしている。



他町村で利用されているデマンドバス

主要事業

Q 令和7年度の事業推進は

A 10月18日(土)に歌謡ショーを予定している



造成工事が行われる予定の道の駅

野崎 令和7年度中の「道の駅ふるどの拡張事業」の進捗見込みは。
町長 敷地の造成工事と施設の実設計を予定している。
野崎 「農業機械導入支援事業補助金」の事業内容と今後は。
町長 補助対象は認定農業者と中心経営体の方で、経営面積が個人で3ヘクタール以上、団体は15ヘクタール以上。補助金は事業費の2分の1で、上限500万円。今後も継続していきたい。
野崎 「宝くじ文化公演事業」の全容は。
町長 今年10月18日15時開演を予定。「華の名曲コレクション」と題し、天童よしみとモト冬樹の歌謡ショーを予定している。
野崎 少子高齢化・人口減少対策をどう進めるのか。
町長 少子化対策は婚活等の推進を、高齢化対策は介護予防や健康推進事業等を実施していく。人口減少対策は、こども園保育料の無償化など子育て世代への経済的支援等を引き続き実施し、人口の自然減と社会減の縮小に向け努力する。

野崎 町民の生活安全対策で新たな取り組みはあるか。
町長 防災無線と町公式ラインを連携し、情報発信力の強化を図る。防災ハザードマップに新しい情報を付け加えた改訂を計画している。

主要事業

Q 交流人口拡大事業
「フルドノタイム」から移住定住の考えは

A 体験型観光として事業を続け移住定住につなげたい



鈴木 隆 議員

鈴木 デマンドバス運行事業の全体工程は。

町長 令和7年度は実証運行によりニーズを把握して、翌年度以降の本格運行を目指す。

鈴木 道の駅ふるとのの拡張事業の竣工時期は。

町長 現在の進捗状況からすると令和9年度末になる予定。

鈴木 簡易水道事業「排水管布設替工事」の町全体の予定は。

町長 令和14年度の完了を予定している。

鈴木 教育総務事業「スクールバス運行業務委託」は公共交通最適化業務の構築の際、委託先は一元化するか。

町長 今後の検討課題と認識している。

一元化が求められるスクールバス



消防団

Q 消防団員減少の状況下、組織運営の考えは

A 情報を共有しつつ、配備車両や機材の有効活用で災害等に対応する

鈴木 定員に対して実人員は。

町長 条例定数304名に対して現在員230名。

鈴木 団員確保のための活動は。

町長 団員による勧誘や町広報紙、ホームページでの募集案内の掲載、町内事業所訪問による社員等の加入協力をお願いをしている。

鈴木 人員不足に対して、機材の充実は。

町長 1人で消火活動できる無反動管鎗を配備している。

鈴木 準中型免許が必要な消防車両運行に対して、免許を持たない団員への手立ては。

町長 今後検討する。

鈴木 機能別団員で消防車両を運行しているか。

町長 避難誘導、水利確保、初期消火、後方支援活動が任務で、車両運行は任務に含まれない。



配備された無反動管鎗

Q 本町のインフラ老朽化は

防災・減災

A 道路橋梁、簡易水道、集落排水等インフラ状況は比較的健全な状態



松川字馬場地内の配水管更新工事

工事名 4号工業10号 生活環境部(土木課) 飲料水用(松川字馬場地内)
工 種 配水管工
測 点 No.0+700
管布設状況



ねもと しげかず
根本 重一 議員

根本 本町のインフラ対策はどのような現状か。
町長 道路橋梁は5年に一度の点検、簡易水道は配水管の更新、集落排水は...

根本 孤立する可能性のある集落の対策は。
町長 早めの避難の呼びかけ、早急な土砂除去や仮道設置等で復旧を図る。

根本 災害時の情報確保の方法は。
町長 気象等の情報は、福島地方気象台、消防庁、県危機管理総室からJアラートや県総合情報通信ネットワークを通して情報を確保する。

根本 避難所環境国際基準「スフィア基準」の認識は。
町長 能登半島地震を受け、政府がスフィア基準を参考に自治体の避難所に関する取組指針・ガイドラインを改訂したことは認識している。

根本 自主防災組織の状況と課題は何か。
町長 現在、田口地区のみ自主防災組織が組織されている。町地域防災計画の理念に基づき、今後各行政区を中心に普及拡大を図る。

根本 土砂災害が発生する恐れのある場所の対策は。
町長 ハード事業の推進と町民へのハザードマップ配布等によるソフト対策を進めている。

根本 災害時の情報連携、備蓄物資の配備、通信・電力の確保、燃料の供給、福祉避難所設置等を目的に15件の協定を締結している。
根本 災害時の情報確保の方法は。

根本 洪水ハザードマップの整備状況は。
町長 防災ハザードマップには、令和元年豪雨による浸水地域を表示している。

根本 改訂される防災ハザードマップ



改訂される防災ハザードマップ

町長 携帯トイレを400個備蓄している。
根本 主な災害用物資と機材等の備蓄状況は。
町長 食料はアルファ米やパン等が3000食、水は3000リットル、毛布750枚、段ボール間仕切り50セット、プライバシーテント60張り、段ボールベッド50個等を備蓄している。

根本 洪水ハザードマップの整備状況は。
町長 防災ハザードマップには、令和元年豪雨による浸水地域を表示している。

SOMETTOKORO (ソメットコロ) 地域おこし協力隊として活躍された吉田チエミさんがフルドノタイムの案内人として竹貫区竹貫地内の「ソメットコロ」で草木染め体験を行います。4/29、5/3・4、6/22、7/6・20・21の計7回開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。
※なお、既に定員に達し、キャンセル待ちの回もあります。(鈴木隆)

Q 道の駅建設の財政面をどう考えるか

道の駅拡張

A 補助金や有利な起債で負担を軽減する



まつざき のりみち
松崎 法通 議員

松崎 建設物価が高騰している中、財政面をどのように考えているのか。

町長 建設等に係る費用は補助金や有利な起債の活用で、財政負担が少なくなるよう取り組む。

松崎 道の駅は規模も大きくなるが、今後も町、JA、商工会を中心に経営するのか。

町長 現在の形態を基本に、見直しが必要な部分は見直していく。

松崎 魅力ある品揃えを保つため対策をどのように考えるのか。

町長 農作物の栽培講習会や先進地視察研修、出荷者向けのパイプハウ

ス導入事業の実施など、新たな出荷者確保に努めている。

松崎 第6次中山間地域直接支払事業の概要は。また、今後の農地のあり方と対策は。

町長 今までどおりの活動の場合は交付単価の8割、複数の集落で行う「ネットワーク化活動計画」要件を満たせば10割交付となる。担い手や中山間地域の活動とあわせ、農地の保全・管理を行い、農地を守っていただきたいと考える。



拡張が待たれる道の駅

公共施設管理

Q 大網庵の屋外環境整備は

A 除草や植木剪定を委託している



観光資源としても活用している大網庵

松崎 大網庵の宿泊状況や、リモートワークなどの利用状況はどのようなになっているのか。

町長 宿泊状況については、令和5年度32件、令和6年度は現在まで45

件の利用があり、その中にはリモートワークを利用されている方もいると考える。

松崎 敷地内除草などの屋外環境整備をどのように行っているのか。

町長 状況に応じて年2、3回、シルバー人材センターに委託している。植木等の剪定は年度当初に業者に委託し実施している。

松崎 役場庁舎JA側からの通路の段差解消と、手すりの設置をするべきと思うが考えは。

町長 設置に向け検討する。

Q 大規模災害の 対応策の現状は

防災・減災

A ハザードマップ等で注意喚起している



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

大規模災害が頻発している現状を考え、伺います。

岡部 注意喚起は。

町長 広報紙や防災無線、ハザードマップで喚起している。

岡部 災害対策として継続する取り組みは。

町長 急傾斜対策、河川堆砂除去、町道整備、避難所や備蓄品の整備。

岡部 備蓄と管理状況は。

町長 備蓄は旧宮本小、やぶさめアリーナ、松川字大作地内の工場建屋に分散している。

岡部 避難所7か所の冬場空調での対応策は。

町長 勤労者体育セン

ター、古中体育館には設備がない。暖房はジェットヒーターとなる。

岡部 孤立集落への対策は。

町長 早めの避難呼びかけと、孤立した際の早急な復旧対応。

岡部 いずれの対策・対応も手順が大事。初期対策の連絡網の整備と防災訓練の状況は。

町長 地域防災計画において情報の収集・伝達、その後の対応も整備されている。防災訓練は4年ごとに大規模災害を想定し、町防災訓練を実施している。



令和5年度に購入した災害時用非常食

福祉

Q 介護報酬引き下げについての認識は

A 影響はあると思われる



コスモス荘でゲームに興じる通所者

岡部 社協への補助金交付額と事業内容は。

町長 交付額は2700万円ほど。8事業へ交付。

岡部 訪問・通所介護事業の収支バランスに問題はなにか。

町長 令和6年度は厳しい状況と聞いている。

岡部 利用者の増減、ヘルパーなどの職員確保の状況は。

町長 ヘルパーは随時募集をしていると聞いている。

岡部 団塊の世代の後期高齢者をどう捉えるか。

町長 今後、介護サービスのニーズに影響があると考えます。

岡部 国の基本報酬引き下げについての認識は。

町長 訪問介護報酬引き下げの影響はある。

岡部 社協の収支赤字もあり得る。町は支援するののか。

町長 今後のあり方を話し合っていきたい。

岡部 補聴器購入補助とふるどの荘増築は。

町長 補聴器は検討を続けたい。ふるどの荘の増築は考えていない。

多世代交流施設つなやさんち 今年で3周年を迎える上松川区横川地内の「つなやさんち」ではフルドノタイムの企画として、催しを行います。4/27はお子さんと家族が楽しめる卓球カフェ、5/11は3年間継続のイベント「健康マージャン、囲碁、将棋」の体験プログラムで皆様のお越しをお待ちしております。(鈴木隆)

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ

ごみ分別の厳格化や町民への啓蒙は

Q 令和6年9月一般質問から

可燃物袋に混入するプラスチック等が焼却施設に影響を及ぼしていると聞かれるが、分別の厳格化や町民に対する啓蒙も含めた今後の予定は。

A 町長答弁

今後は施設組合、石川管内5町村で連携し対応していく。

分別して大事な資源を大切に使いたいね。

しみもっちー



平成27年の
中学生議会で誕生！

その後の
対応

令和7年4月よりプラスチックごみ分別が追加となり、町民への周知にリーフレットが配布された。



配布されたリーフレット

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

6月上旬

まちの企業紹介

No.19

● 今回紹介するのは、「**有限会社 水野運送店**」の皆さんです。 ●

***会社の設立を教えてください。**

昭和34年創業。

有限会社水野運送店は水野国芳が昭和34年に設立し、2代目の水野寿雄、3代目の水野和子を経て現在、4代目の水野光芳を先頭に主に関東圏の事業所からの多種多様な産業廃棄物を福島県内外に運搬しています。

本社、会津営業所、玉川営業所の3営業所体制で客先需要に合わせた仕様車両で対応し、安全かつ円滑な運搬に努めています。



本社の外観

***会社における基本的な考え方は何ですか。**

豊かな自然を次世代の子供たちに渡すため、環境保全活動に取り組みます。

有限会社水野運送店は「21世紀型環境保全企業を目指して」を経営ビジョンとし、人と環境の共存・調和を考え、地域社会や地球環境への貢献を目指すとともに、全社員で「安心で信頼される企業」となるため、無事故・無災害の達成に日々取り組んでいます。



有限会社 水野運送店の皆さん

編集後記

3月13日に記念すべき古殿中の第50回卒業式が挙行された。

卒業証書を手にした39名の生徒は、世界を震撼させた「コロナ感染症」の渦中この坂道を上り入学した。そこから、様々な制約と困難を乗り越えて今日の日を迎えた。

答辞を述べた生徒代表は同級生同士が手を携えて、厳しい局面を乗り越えてきた思いに出に差しかかると、声が震え言葉に詰まった。これからも、様々な試練を乗り越えなければならない時があるかもしれないが勇往邁進して夢を掴んでほしい。そう願った。

(野崎)

議会だより

編集特別委員会

委員長 野崎

喜彦

副委員長 鈴木

隆

委員 根本

重一

委員 根本

太郎兵衛

委員 松崎

法通